

## 第6回日本伝道会議

# プロジェクト「痛みを担い合う教会」計画案

### ➤ 目的

- 東日本大震災を通して教会が神から教えられたこと、問われたことを神学的に考察し、今後の宣教の課題として提言する。
- 被災地の教会が経験してきた課題は被災地に限定された課題ではないとの認識の下、各地域教会がその地域や人々とどのように向き合い、どのように関わっていったらいいのか宣教の課題として考察する。
- その過程で見えてきた課題を、全体としてどのように担い合うことができるのか、その具体的方法を模索し提言する。

### 神学的な考察の例：

- 「痛み」について  
痛みとは何か/ どのような痛みか/ 痛みとどのように向き合い、認識するのか
- 「担い合う」ということについて  
痛みを担い合うことは可能か/ 痛みをどのように担うのか /神はどのように痛みを担ったか
- 「教会」について  
痛みを担うことは教会の使命か/ 教会とは何か /教会はこの世界とどう向き合い、どう関わるのか。

### ➤ 目標

- 東日本大震災で教えられたこと、問われたことを総括し、伝道会議の際に提言する。
- 様々な教派・教団の教会がともに宣教の働きを担っていくことができるための素地を作り出す。

### ➤ 方法

- 2015年11月13日に、北上聖書バプテスト教会を会場に1回目の会議を開催。プロジェクトのメンバーと、3.11 いわて教会ネットワークのコアメンバーに集ってもらい大震災後の働きを通して感じたこと、教えられたこと、考えさせられたことについて分かち合い、問題意識を共有した。
- 4月19日に2回目の会議を開催予定(郡山キリスト福音教会)。1回目で見えてきた課題についてさらに考察し、神学的に深め、伝道会議の際のプレゼンテーションの方法についても考える。
- 伝道会議の前にもう一度集まり(日程未定)、最終調整を行う。さらに、伝道会議終了後の取り組みについて検討する。

### ➤ メンバー

若井和生(リーダー) 木田恵嗣 松田牧人 阿部信夫 根田祥一